

総合的な学習の時間－１（第１学年） ウェビング図で情報を構造化しながら課題を設定する事例
【学習活動の概要】

<p>1 単元名 天王山を元気な里山に</p>															
<p>2 単元の目標 「ドングリ」を栽培し「天王山」に植えたり、里山を守る取組を多くの人に伝えたりする活動を通して、地域の自然環境への理解を深めるとともに地域の自然に関わる人々の努力や工夫に気付き、ふるさとの自然を大切にしようとする。</p>															
<p>3 評価規準 【課題追究の力】体験活動等を通して生じた疑問を課題として設定し、その解決を目指している。 【情報活用の力】多様な情報を収集し、そこから必要な情報を取り出している。 【表現・省察】相手、目的、意図に応じて、自らの考えを効果的に書いたり発表したりしている。 【共生・社会参画】協同して課題を解決するとともに、環境保全のために行動しようとしている。</p>															
<p>4 教材 本単元で扱う「天王山」は、かつては緑豊かな里山であった。この里山の雑木林は、近年、常緑樹が増え、暗くなってきている。また、特産物であったタケノコ畑の荒廃した竹林からモウソウチクが進出し、雑木林を荒らし天王山の豊かな自然は失われつつある。 雑木林の復活に向けた保護活動を行うことを本単元の中心的な活動とし、クヌギやコナラの栽培や観察、保全に向けた啓発活動を地域住民や行政、専門家、企業と連携して展開する学習活動を行う。自らが地域に貢献する場面を設定することで、地域の一員としてふるさとの自然を守ろうとする生徒の育成を期待して単元を構成した。</p>															
<p>5 主な学習活動 (1) 単元の展開（全35時間）</p>															
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="114 958 242 1014"></th> <th data-bbox="242 958 912 1014">学習活動</th> <th data-bbox="912 958 1474 1014">言語活動に関する指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="114 1014 242 1312">第一次</td> <td data-bbox="242 1014 912 1312"> ○栽培するためのドングリを採集したり、天王山の現状を観察したりすることを通して、自らの課題を設定する。(10) ・天王山の保護活動に携わる方々の講義を聞く。 ・天王山で栽培するためのドングリを拾ったり、天王山の森林の様子を観察したりする。 ・ドングリの採集や天王山の観察からイメージしたことを書き出し、整理・分析し、学習課題を設定する。(本時9・10/10) </td> <td data-bbox="912 1014 1474 1312"> ・ウェビングの手法を用いて、ドングリの採集や里山の観察から分かったこと、疑問点等も含めて思い付いたことを書き上げ、イメージを広げる。 ・完成したウェビング図を分析する。 ・他者に自分のウェビング図を説明したり、他者の説明を聞いたりする活動を通して、他者の考えと比較し自らの課題を明らかにしていく。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="114 1312 242 1509">第二次</td> <td data-bbox="242 1312 912 1509"> ○ドングリを竹筒ポットで育て天王山に植える。(8) ・竹を切り、ポットを作る。 ・竹筒ポットにドングリを植え、育てる。(1年間) ・荒れた雑木林を整理し移植場所を確保する。 ・1年後の春に竹筒ポットごと天王山に植える。 </td> <td data-bbox="912 1312 1474 1509"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="114 1509 242 1684">第三次</td> <td data-bbox="242 1509 912 1684"> ○自分の学習課題をグループの仲間と共に多様な方法で解決するとともに、自分たちにできることを考える。(10) ・学習課題の解決方法や計画を立てて活動する。 ・中間報告会で、ドングリ栽培の時お世話になった方に、発表しアドバイスを受ける。 </td> <td data-bbox="912 1509 1474 1684"> ・学習課題を解決した結果や自分の実践について中間報告する活動を通して、自らの学習活動を振り返り改善する。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="114 1684 242 1787">第四次</td> <td data-bbox="242 1684 912 1787"> ○天王山を元気な里山にするためにできることを実践する。(7) </td> <td data-bbox="912 1684 1474 1787"> ・天王山を元気な里山にするための啓発活動として、相手を納得させるための表現活動を展開する。 </td> </tr> </tbody> </table>		学習活動	言語活動に関する指導上の留意点	第一次	○栽培するためのドングリを採集したり、天王山の現状を観察したりすることを通して、自らの課題を設定する。(10) ・天王山の保護活動に携わる方々の講義を聞く。 ・天王山で栽培するためのドングリを拾ったり、天王山の森林の様子を観察したりする。 ・ドングリの採集や天王山の観察からイメージしたことを書き出し、整理・分析し、学習課題を設定する。(本時9・10/10)	・ウェビングの手法を用いて、ドングリの採集や里山の観察から分かったこと、疑問点等も含めて思い付いたことを書き上げ、イメージを広げる。 ・完成したウェビング図を分析する。 ・他者に自分のウェビング図を説明したり、他者の説明を聞いたりする活動を通して、他者の考えと比較し自らの課題を明らかにしていく。	第二次	○ドングリを竹筒ポットで育て天王山に植える。(8) ・竹を切り、ポットを作る。 ・竹筒ポットにドングリを植え、育てる。(1年間) ・荒れた雑木林を整理し移植場所を確保する。 ・1年後の春に竹筒ポットごと天王山に植える。		第三次	○自分の学習課題をグループの仲間と共に多様な方法で解決するとともに、自分たちにできることを考える。(10) ・学習課題の解決方法や計画を立てて活動する。 ・中間報告会で、ドングリ栽培の時お世話になった方に、発表しアドバイスを受ける。	・学習課題を解決した結果や自分の実践について中間報告する活動を通して、自らの学習活動を振り返り改善する。	第四次	○天王山を元気な里山にするためにできることを実践する。(7)	・天王山を元気な里山にするための啓発活動として、相手を納得させるための表現活動を展開する。
	学習活動	言語活動に関する指導上の留意点													
第一次	○栽培するためのドングリを採集したり、天王山の現状を観察したりすることを通して、自らの課題を設定する。(10) ・天王山の保護活動に携わる方々の講義を聞く。 ・天王山で栽培するためのドングリを拾ったり、天王山の森林の様子を観察したりする。 ・ドングリの採集や天王山の観察からイメージしたことを書き出し、整理・分析し、学習課題を設定する。(本時9・10/10)	・ウェビングの手法を用いて、ドングリの採集や里山の観察から分かったこと、疑問点等も含めて思い付いたことを書き上げ、イメージを広げる。 ・完成したウェビング図を分析する。 ・他者に自分のウェビング図を説明したり、他者の説明を聞いたりする活動を通して、他者の考えと比較し自らの課題を明らかにしていく。													
第二次	○ドングリを竹筒ポットで育て天王山に植える。(8) ・竹を切り、ポットを作る。 ・竹筒ポットにドングリを植え、育てる。(1年間) ・荒れた雑木林を整理し移植場所を確保する。 ・1年後の春に竹筒ポットごと天王山に植える。														
第三次	○自分の学習課題をグループの仲間と共に多様な方法で解決するとともに、自分たちにできることを考える。(10) ・学習課題の解決方法や計画を立てて活動する。 ・中間報告会で、ドングリ栽培の時お世話になった方に、発表しアドバイスを受ける。	・学習課題を解決した結果や自分の実践について中間報告する活動を通して、自らの学習活動を振り返り改善する。													
第四次	○天王山を元気な里山にするためにできることを実践する。(7)	・天王山を元気な里山にするための啓発活動として、相手を納得させるための表現活動を展開する。													
<p>(2) 本時の学習 ドングリの採集や天王山の観察からイメージしたことを書き出し、ウェビング図に整理し、自分の学習課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○「天王山のドングリ」などの言葉から、イメージすることや知っていること、もっと知りたいことなどをウェビング図に書き記していく。 ○自分の書いたウェビング図を分析する。 ○他者のウェビング図を見て説明を聞きながら、自分の考えと比較する。 ○再度、ウェビング図に書き記しながら、自分の考えを一層明確にし、学習課題を決定する。 </div>															

【解説】

【指導事例と学習指導要領との関連】

中学校学習指導要領 第4章 総合的な学習の時間 第3の2の(3)において、「自然体験や職業体験活動、ボランティア活動などの社会体験、ものづくり、生産活動などの体験活動、観察・実験、見学や調査、発表や討論などの学習活動を積極的に取り入れること。」と示している。

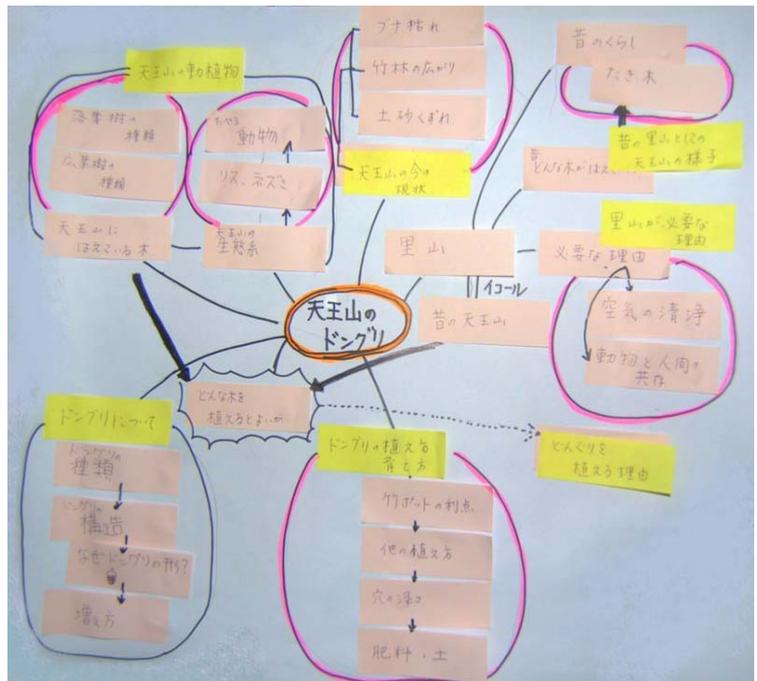
生徒は、自然や人々と関わる体験活動を通して、自分と向き合い、他者に共感することや社会の一員であることを実感する。また、同 第3の2の(4)において、「体験活動については、第1の目標並びに第2の各学校において定める目標及び内容を踏まえ、問題の解決や探究活動の過程に適切に位置付けること。」と示している。このように総合的な学習の時間では体験活動を重視している。しかし、ただ単に体験活動を行えばよいわけではなく、それを問題の解決や探究活動の過程に適切に位置付けることが重要である。

本事例は、生徒が育てたドングリの苗を里山に植えるという体験活動を中心に設定している。これらの体験活動を通して、今、里山が失われ、生態系が崩されている現実を生徒は実感的に理解する。生徒自らが体験しているからこそ、その状況を改善するための方法について考え実践する必然性が生徒の中に生まれてくる。特に、本時では、ドングリを竹筒ポットに植える体験をした後、初めて知ったことや分かったこと、もっと知りたいこと、疑問に思ったことなどを付箋紙に書き出しながら、ウェビング図に整理し、自らの学習課題を設定していく場面である。ウェビングの手法を活用して、イメージしたことを書き出し、関連のあるものを近くに配置したり、線でつないだり囲んだりして構造化していく。これらの過程を通して、自分のイメージを拡散させた上で収束させ、自らの課題を明確にしていく。

【言語活動の充実の工夫】—ウェビング図を使って課題を設定する活動—

ウェビング図を活用した
課題設定の過程 (例)

- ①「天王山のドングリ」を中心テーマに体験活動を通して、分かったことやもっと知りたいことなどイメージしたことを同色の付箋紙に書き出す。
- ②一枚書き出す度に、関連のある付箋紙の近くに順に貼っていく。中央の「中心テーマ」から放射状に広げる。
- ③関連のある内容は線でつないだり○で囲んだりする。その際、付箋紙を移動させ貼り直してもよい。
- ④分類した付箋紙に、新しい名前を付ける



本時は「天王山のドングリ」というテーマから、イメージしたことを単語で付箋紙に書き出し、ウェビングの方法を活用しながら、自らの考えを整理し、自分の学習課題を明確にすることをねらいとしている。

ウェビング図を作成し分析するだけでなく、その図を用いて、自分の学習課題に対する考えをペアやグループで交流し合うことで、他者の考えに触れ、自分の考えと比較することになり、新たな視点を学んだり、自分の考えをより深めたりすることにつながる。さらに、他者との交流で学んだことをウェビング図に付け加えることにより、自分が何を深め、追究したいと考えているのかを明確にすることもできる。ウェビング図の作成と他者との交流を意識的に行うことにより、自らの考えを分析し、他者と比較することができ、明確な課題を設定することにつながる。